

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶるーべりー川西		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 18日		～ 2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 11月 18日		～ 2025年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い運動スペースがあり多様に運動内容を設けられる	スペースがあるので行う事を複数取り組めるため、当人にとっての得手不得手を設定しやすく運動や集団での行いやすさを作る	広いからこそ行える事だけではなく既存の物も大きく扱う事で捉え方や思考に柔軟性を得ていく
2	小児鍼を行い、身体面・精神面・健康面の改善・向上を図る	専門家監修のもと、職員でも行える形を増やしている	家庭内にある物(スプーン等)を使うなど家庭でも取り組めるような形を作る
3	送迎は原則事業所が行う形にしている	園や家に限らず、祖父母・親戚宅など保護者の負担が軽減できるように対応している	有事の際にも対応できるように送迎車に余裕を持たせている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育への比重が少なく偏りがある	要望から集団の必要性が大きく提供に偏りが生まれており、集団を優先しがちである 利用児自身もみんなでの意識が強まってしまう個別に抵抗を示さなくもない	個別支援は勿論の事、集団で行う中でも個人に目を向け支援を継続して意識していく 療育内容も個別・集団とバランスを意識していき、習慣を変えていく
2	施設に階層があることで職員が分散してしまい対応力や行えることに制限がかかる	各階に児童が分散することで、合わせて対応する職員も分散し分散する比率で行えることに制限がかかってくる	職員の増員もであるが、時間やローテーションといった分散比率をコントロールすることで改善を図る
3	地域交流が出来ていない	新しい人・場所など環境変化が苦手な子がおり二の足を踏んでしまう	全体での地域交流と捉えず、通所している園など小規模の交流から始めていき一人二人と徐々に行っていく